

令和 6 年 11 月吉日

一宮市立南部中学校
卒業生の会員各位

一宮市立南部中学校同窓会
会長 川口惣吉

同窓会の運営へのご協力(お願い)

謹啓

南部中学校同窓生の皆さんには、日々、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、皆さんが卒業された南部中学校は、昭和 22 年(1947 年)創設され、歴代延べ 16 人の校長先生のもと、本年 3 月第 77 期生 306 名が卒業して、本校卒業生総数が 30,723 名となり、市内 19 校ある中学校でも、文武とも充実した有名校となって、私たち同窓会の誇りであります。

私たち卒業生は、自分たちの出た学校の発展を誇りにもってよいと思います。

卒業会員の年齢層も 80 歳から 16 歳と幅広い 3 世代間の構成からなっております。

そして、昭和 32 年(1947 年)9 月、同窓会が発足し、今年で 66 年経過をいたしました。私が総会で会長に推挙されたのを期に、同窓会の充実と、本校への支援活動をすべく、会則にのっとり母校支援・協力行事として、定時総会を毎年 11 月の第 1 日曜日に開催するとともに、10 万円相当、校長と相談して、毎年学校運営ならびに生徒のために必要な備品などを同窓会が寄贈してまいりました。

過去の主な寄贈品として、運動会の優勝チームに優勝旗・トロフィー、テント 4 張り、卓球台、楽器類、暖房器具、デジタルビデオカメラ等の備品のほか、全国・県への大会出場者への激励金、健全育成事業の協賛、成人者への記念品等、本校生徒のために微力ながら、同窓会として支援してまいりました。

その原資は、毎年卒業する生徒から、同窓会終身会員の入会金として、300 円/1 人となっています。(少子化時代で、毎年の卒業生が 300 名弱で事業費の方が多いのが実情です。)不足分は学校創設 50 周年・55 周年の記念行事として、計 2 回、会員名簿を発刊し、その広告収入で充足したり、同窓会員個人ならびに有志の寄付でまかなっていたりしてまいりました。しかし、その収入源である名簿発刊も、個人情報保護法の観点から、発行することは好ましくなく、同窓会の繰越金も枯渇の状況になってきています。

そんな折、特に近時は卒業してから何年経過したので同期会を開催するとか、還暦を記念して同期生が集まったとか、会を開いた機会ごとに、寄付をしてくださるご厚志家や、会の余剰金等が出たので、同窓会に寄付するというお申し出がいただけるようになりました。

つきましては、私たちが出た母校の施設の充実と、生徒の健全育成のための事業等、同窓会として、微力かも知れませんが、継続して実施していきたいと考えております。

同期会とか、同級会とか、記念になる会合を開かれた場合には、幹事さんには、その意をお汲み取りいただき、金額の多寡にかかわらず、ご賛同いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

謹白